

2025年度 事業報告

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

1 事業概要

1月に厚生労働省より発表された2025年の自殺統計では、小中高校生の自殺が532人と過去最多になったとの報告がありました。子どもたちを取り巻く環境はより一層深刻なものとなっている現状を踏まえ、子どもたちのこころの居場所としてのチャイルドライン活動を継続しています。

2022年3月からは神奈川県内のみならず、日本全国の子どもたちの声に耳を傾けることを目指し受信地域を全国に拡げ、今年度もたくさんの子どもたちの声を聴くことができました。加えて2023年8月から開始したオンラインチャットも活動として定着し、より子どもが利用しやすい環境を整え、さらに地域の関係団体と連携し、緊急時や必要なケースにおいてスムーズなサポート体制を構築してきました。

また、子どもたちと関わる受け手ボランティアの質を高めるため、研修や事例検討を積極的に行い、それによって研鑽を積んだ受け手が様々な子どもたちの話を受け止めました。

2 重点事業

(1)チャイルドライン事業 参考資料-添付資料①

○電話事業の実施

開催日時・・・月・水・木の 16 時から 21 時、フリーダイヤル

受け手 4～9人、支え手 1～2 人

ピアヘルパー2～4 人

電話件数・・・年間 9756 件の電話を受けた

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
999	869	785	934	719	778	771	734	862	778	733	794	9756

○オンラインチャット事業の実施

開催日時・・・月 1 回(第 4 土曜日 16 時から 18 時)

受け手 2～3人、支え手1人

チャット件数・・・年間 52 件のチャットを受けた

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	4	10	6	0	0	4	10	0	6	0	5	52

○子どもたちへのチャイルドラインの周知

・ホームページにおいて子ども向けページを設け活用。

・チャイルドラインカードの発行と配布

全国共済神奈川県生活協同組合の支援により作成したチャイルドラインカードを神奈川県内各教育委員会の協力により、県内の児童、生徒たちに約 15 万枚のカード及び配布した。

・ポスターによるチャイルドライン活動についての周知

高校生に向けての新たな周知の取り組みとして、チャイルドライン支援センターが作成した電話番号及びチャットにつながる QR コードを記載した啓発ポスターを購入し、各学校宛てに送付し掲示を行った。

カード配布			
	発送時期	学校数	配布枚数
横浜市立小中高等高等学校・特別支援学校	5月	507 校	75,820 枚
神奈川県内私立小中学校	10 月	91 校	13,580 枚
神奈川県内小中学校	12 月	496 校	66,655 枚
カード配布計		1,094 校	156,055 枚
ポスター配布			
	発送時期	学校数	配布枚数
神奈川県立高等・中等教育学校・特別支援学校	9月	187 校	374 枚
神奈川県内私立高等学校・中等教育学校	10 月	84 校	168 枚
ポスター配布計		271 校	542 枚

(2)研修、スキルアップ事業

○受け手に対する研修事業の充実

・事例検討会の開催(全7回)

電話事例(全5回)

5/17(土)	10:00～12:00	講師:小出 太美夫	参加	15名
8/30(土)	10:00～12:00	講師:松橋 秀之	参加	12名
12/6(土)	10:00～12:00	講師:小出 太美夫	参加	11 名
1/17(土)	10:00～12:00	講師:松原 康雄	参加	7 名
3/14(土)	10:00～12:00	講師:野口 由起子	参加	6 名

チャット事例(全2回)

9/27(土)	19:00～21:00	講師:宮田 智基	参加	12名
1/24(土)	14:00～15:30	講師:松原 康雄	参加	5 名

・子ども支援者連続講座2025の開催(市民向け・受け手のスキルアップ研修兼ねる)(全5回)

公益財団法人よこはまユース(横浜市青少年育成センター)共催

公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 後援

一般受講者数 75名 受け手受講者数 60名 合計受講者数135名(延べ人数)

【参考】講座の詳細及び内訳

第1回	9月13日(土) 10:30～12:30	子どもの権利を考える	松原 康雄	15名(8) 23名
第2回	9月20日(土) 10:30～12:30	子どもの権利が問題になる場面	高橋 温	15名(13) 28名

第3回	9月28日(日) 10:30～12:30	心の声を聴くこどもアドボカシー ～こどもの「ために」から、こどもと「ともに」～	川瀬 信一	14名(16) 30名
第4回	10月4日(土) 10:30～12:30	子ども・保護者に寄り添う教育とは ～多様な支援の現場から～	佐藤 正淳	15名(12) 27名
第5回	10月11日(土) 10:30～12:30	わたしのからだはわたしのもの ～包括的性教育～	高橋 幸子	16名(11) 27名

カッコ内は受け手受講者数

・個人スーパーヴィジョン 随時

○受け手のケアの充実

・受け手が、支え手やピアに話しかけやすく、リラックスできる環境づくりを目指し、電話を受ける前後に支え手が事例を共有するなどケアを行った。また、ピア研修を実施しピアとしての活動へのサポートも行った。

ピア研修(年2回)

7/6(土) 13:00～15:00 講師:松橋 秀之 参加7名

1/18(土) 13:00～15:00 講師:松原 康雄 参加7名

・毎月月頭にシフト申込み状況を確認し、不足枠について周知し追加募集をすることで電話シフトへの参加を促し、より参加しやすい環境を整えた。

・受け手対象の受け手ニュース発行(毎月最終水曜)

○第13期インターン生の養成

・2025年2月1日からインターンとしてチャイルドライン活動を開始。電話対応時、支え手による個人スーパーヴィジョンを行った。

(3)広報事業

○情報誌「Harmony」の発行

・年1回(3号)発行 2000部(共同募金会、NHK 歳末たすけあいのご協力)

配布先・・・会員、寄付者、横浜市内小中高等学校学校長、はまっこふれあいスクールチーフパートナー

放課後キッズクラブ主任、図書館、地区センター、児童相談所、教育事務所

○リーフレットの作成及び配布

・電話データを基にした活動の紹介や支援方法等チャイルドラインの周知を目的としたリーフレットを作成。

図書館・地区センターをはじめとした市内各施設への配架及び、その他関係各所での配布を積極的に行った。

○ホームページの運用

・講座の情報等随時更新。

○メールマガジンの発行

・月1回発行(2025年6月より)

最新の電話データ及びデータから見る傾向を掲載し、一般への周知を図った。

(4)啓発イベントの開催

○チャイルドラインの社会的認知をはかる

・講師派遣事業をホームページに掲載し、継続的に講師派遣事業を 2 件行った。

2026 年 1月22日(木)	横浜市学校保健会 旭支部大会	「子どもの声にならない声を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)
2026 年 2月28日(土)	子どもセンターてんぼ 養成講座	「子どもの声にならない声を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)

(5)企業や行政、他機関との連携

○活動を広げていくために積極的に連携をはかる

・子ども支援者連続講座2025を公益財団法人よこはまユースと共催、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団の後援で行った。

3 組織運営に関する事業

○よこはまチャイルドラインの運営の充実をはかる

・総会

役 割:全ての正会員で構成される最高議決機関

会 議:6月15日(日)

会員数124人 出席総数67人(うち表決32人、委任 8 人)全ての議案が可決された。

・理事会

役 割:全ての理事で構成され、業務執行の決定など

会 議:年4回実施(6/15・10/1・2/21・4/25)

メンバー 理事 11 名 監事2名

・運営委員会

役 割:理事の業務を補助

会 議:実施なし

メンバー 8 名

・広報

役 割:会員や寄付の増加につながるよう、情報発信に努めた

会 議:3 回実施(情報誌編集会議)(5/7・9/1・1/27)

メンバー 3 名

・子ども支援事業部

役 割:子ども支援業務に関するデータ管理や受け手の質の向上に努めた
会 議:3 回実施(7/5・12/6・2/14)
メンバー 7 名

・事務局

役 割:運営上の諸事務を担当
会 議:7 月よりサポーターミーティングを月 1 回実施
サポーター(事務局補佐)
メンバー 9 名

・受け手

役 割:電話及びオンラインチャットにおける受け手活動
メンバー 71 名

・支え手

役 割:受け手に対する指導・助言
会 議:11 回
メンバー 17 名

・ピアヘルパー

役 割:受け手のケア全般
会 議:11 回実施(毎月第 1 金曜日 20:00-21:00) ※1月を除く
メンバー 8 名

・ファンドチーム

役 割:運営するための資金活動を行う
会 議:実施なし
メンバー 2 名

4 今後の課題

よこはまチャイルドラインとして、多様な子どもたちの声を受け止めるため、従来の電話に加え、オンラインチャットを使用した活動を充実させていくことを課題としていくこととする。